

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4315 ジェンダー労働論			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	金曜3限				
教室	B203教室				
代表教員	田川 夢乃				
担当教員	田川 夢乃				
テーマと到達目標	【テーマ】本授業では、アジアの女性たちによって担われるケアや再生産労働などの「親密性の労働」に注目し、グローバル社会におけるジェンダー労働の諸相を考察する。 【到達目標】グローバル社会におけるジェンダー労働を、経済・国家・移民・人種・宗教・セクシュアリティが交差するインターセクショナル리티の観点から理解することを目標とする。				
概要	「親密性の労働」について、アジア女性の労働の事例を用いて解説する。具体的には、出稼ぎ労働者による家事労働や性労働、または代理母出産ビジネスといった問題について、学際的に多角的な視野から学習する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	イントロダクション：アジア女性と親密性の労働				対面授業
第2回	ケア／ワーク：ケアワークの階層的分業				対面授業
第3回	主婦の仕事・母の仕事：家事労働の変容				対面授業
第4回	女性の社会進出と家事：有償労働と無償労働				対面授業
第5回	中間層と家事使用人：国内出稼ぎ労働				対面授業
第6回	移りゆくケアの担い手：海外出稼ぎ、家事労働者				対面授業
第7回	農家の娘から外国人妻へ：国際結婚				対面授業
第8回	人種ステレオタイプを演じる：海外出稼ぎ、エンターテイナー				対面授業
第9回	「不法滞在」をする側の論理：海外出稼ぎ、セックスワーク				対面授業
第10回	移民女性が抱える脆弱性：出稼ぎ労働、移民、ジェンダー暴力				対面授業
第11回	日系人と親密性の労働：人種・エスニシティ、移民				対面授業
第12回	借り腹ビジネスと女性の身体：代理母出産				対面授業
第13回	親を知らない子ども、子どもの成長を知らない母：チェーンマイグレーション、親子関係				対面授業
第14回	アジアにおける移民労働と市民社会				対面授業
第15回	まとめ：授業の振り返り				対面授業
成績評価の基準	平常点（授業への積極的な参加、課題の提出）：40％、期末レポート：60％。				
履修にあたっての留意事項	毎回の授業でコメントペーパーの提出を求める。 本授業の内容に沿ったテーマで期末レポートを課す。 適宜映像資料を用いる。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	実施しない（原則対面で行なう）。				
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	とくになし。		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	落合恵美子・赤枝香奈子編（2012）『〈変容する親密圏／公共圏2〉アジア女性と親密性の労働』京都大学学術出版会（定価 3,960円） 安里和晃編（2018）『〈変容する親密圏／公共圏13〉国際移動と親密圏—ケア・結婚・セックス』京都大学学術出版会（定価 4,620円）	参考文献(ISBN)	9784876985746 9784814000722